

令和6年度 健康福祉部 運営方針

1 組織目標

(1) 人生百年時代、命と健康を守り、安全・安心な暮らしを確保します。

人生100年時代に向けて、市民の皆様の命と健康を守るため、子どもから高齢者までライフステージに応じた健康づくりや生活習慣病の予防などに取り組むとともに、関係機関と緊密な連携を図り、持続可能な保健・医療・福祉の機能強化に努め、安全・安心な暮らしを確保します。

(2) 一人ひとりの暮らしといきがい、地域を共に創る地域共生社会を実現します。

市社会福祉協議会ははじめ関係機関と連携しながら、地域住民が支え合い、一人ひとりの暮らしといきがい、地域を共に創る地域共生社会の実現をめざし、地域共生プランを改定します。

また、地域共生社会の実現に向けた基幹的施設をめざして、「いのちと生活を守る包括的な支援拠点」に加えて、「人生100年時代のいきがい創出拠点」の機能を併せ持つ、総合的な福祉拠点の整備を進めます。

(3) 「つながり」のある未来に向け、包括的な支援体制を構築します。

ひきこもりや8050問題、社会的孤立など、多様化・複雑化した福祉課題を抱える方を支援するため、孤独・孤立対策を推進し、「つながり」のある未来へ向けて、ひきこもり支援と就労準備支援の一体的実施や重層的な支援体制の強化など、包括的な支援体制を構築してまいります。

2 重点施策・重点事業

(1) ライフステージに応じた健康づくりの推進

「心と体のかすがい健康計画2035」に基づき、市民一人ひとりの健康への意識を高め、ライフステージに応じた健康づくりに取り組みます。

令和6年度は、高齢者の聴力機能の低下を早期に発見し、治療につなげるため、ヒアリングフレイル対策と補聴器の購入費の補助を開始します。また、歯と口の健康は、生涯にわたって身体の健康を保つうえで重要であるため、フッ化物洗口事業を拡充してまいります。

- ① ヒアリングフレイル予防の推進
- ② 補聴器購入費補助制度の開始
- ③ フッ化物洗口事業の推進

(2) 地域共生社会の実現に向けた各種施策の推進

地域共生社会の実現に向けて、地域共生プランを改定し、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉など様々な分野の施策を総合的に推進する体制を検討してまいります。

また、あらゆる世代の相談支援の機能を集約し、福祉課題に対応するとともに、いきがい創生や多世代交流の活動を支援する総合的な福祉拠点の整備に向けて、基本構想の策定に着手します。

- ④ 総合的な福祉拠点の整備
- ⑤ 地域共生プランの改定
- ⑥ 障がい児支援の充実

(3) 「つながり」のある未来に向けた包括的な支援体制の構築

社会的孤立等の多様化・複雑化した福祉課題に対応するため、重層的な支援体制の強化を図るとともに、ひきこもり支援と就労準備支援の一体的実施や、生活保護の適切な支援など、包括的な支援体制を構築してまいります。

- ⑦ 重層的支援体制の強化
- ⑧ ひきこもり支援と就労準備支援の一体的実施
- ⑨ 生活保護の適切な支援体制の整備